

文化会館舞台設備保守点検業務仕様書

1. 対 象 横須賀市文化会館 大ホール舞台設備
 横須賀市深田台 5 0 番地

横須賀市文化会館 中ホール舞台設備
横須賀市深田台 5 0 番地

2. 目 的

- (1) 大ホール舞台設備の機能保持のため、定期点検を年 3 回実施するものとする。
- (2) 中ホール舞台設備の機能保持のため、定期点検を年 1 回実施するものとする。

3. 結果報告

点検終了後、結果を点検表にて速やかに報告するものとする。

4. その他

故障の際は、直ちに点検調整を行うものとする。

大ホール舞台設備定期保守点検の内容

1. 保守点検内容

(1) 捲上機関係 8 台	{ 電動機点検各作動調整 減速機点検各作動調整 電磁ブレーキ点検各作動調整 リミットスイッチ点検各作動調整 保安スイッチ点検各作動調整 制御盤点検各作動調整 操作盤点検各作動調整
(2) 昇降装置関係 2 5 台	{ 分銅棒点検 引綱点検調整 元車、下車、枝車点検取付ボルト増締調整 方向変車、受車点検取付ボルト増締調整 ガイドワイヤー点検調整 バトン点検調整 綱止点検調整 クリップ点検調整
(3) せり上り装置 1 台	{ 電動機及び油圧装置点検調整 駆動装置点検調整 操作盤点検調整 制御盤点検調整

2. 保守点検方法

〔1〕 機構部の点検整備

各装置の機能チェックを行い、機構部の点検整備と必要な調整を行う。また、各部の目視点検を行って、安全を確認する。

(1) 作動点検と機能点検

全装置について運転操作を行って、各装置の作動状況を確認する。また、機能に問題がないか確認する

ア 確実な動作をするか

イ スムーズな動きをするか

- ウ 異音の発生、異常発熱、異臭、異常振動がないか
- エ 不具合箇所がないか、機能に異常がないか

(2) 整備と調整

機構各部の整備と必要な調整を行う。

- ア 電動装置のリミット調整
- イ 吊物装置の水平レベル調整（ワイヤ調整・ターンバックル調整）
- ウ 引綱ロープの張り具合調整
- エ 巻上機及び駆動機構の整備と清掃
- オ Vベルト・チェーン等の張り具合調整
- カ ブレーキの調整
- キ オイルの補充、グリースの塗布、注油、オイルの拭取り
- ク 中割式の幕開閉装置の開閉センターの調整
- ケ 幕開閉装置の開閉ロープ及び砂袋の調整
- コ 幕の裾レベル調整
- サ 各部取付ボルト・ナット・ねじ類の締付け確認

(3) 磨耗及び消耗状況の点検

摩耗、摩滅が生ずる部分または消耗する部品等を点検し、異常摩耗等がないか確認し、部品の交換・修繕等の対策が必要かどうか判断する。

- ア 滑車類のロープ溝、車軸の状況（異常摩耗・ガタつき・異音）
- イ ワイヤロープの状況（異常摩耗・素線切れ・型崩れ・キンク等）
- ウ 引綱ロープ、固定吊ロープの状況（異常摩耗・劣化・損傷）
- エ Vベルトの状況（異常摩耗・劣化・損傷）
- オ ギヤの状況（異常摩耗・損傷）
- カ ローラチェーンの状況（ローラの異常摩耗・損傷・変形）
- キ スクリュー軸、ナットの状況（異常摩耗・損傷・めくれ）
- ク オイルシール、オイルゲージの状況（オイル漏れ・損傷）
- ケ ガイドシュー、レール、ローラの状況（異常摩耗・損傷）
- コ 表示ランプの点灯状況（球切れ・破損）

(4) その他の安全確認

安全装置の作動テスト等、特に安全確保のため以下のことを確認する。

- ア ワイヤロープの結束部分の処理状態確認（ワイヤクリップの緩み）
- イ 固定吊ロープの結束部分の処理状態確認
- ウ 分銅棒の状況確認（変形・曲がり）

- エ 綱止めの機能確認
- オ 滑車類の取付状態確認とワイヤロープの脱落のないことを確認
- カ すのこ上ほか装置周辺環境の安全確認

〔２〕 操作制御部の点検

操作盤制御盤関係の盤面及び盤内の電気品を点検し、測定を行う。

- ア 制御機器の目視点検・動作確認
- イ 盤面取付部品類の点検
- ウ 運転確認
- エ 配線状態及び端子の締付け確認（年１回）
- オ 盤内清掃（年１回）
- カ モーター回路の絶縁抵抗測定（年１回）
- キ 各装置の正逆負荷電流測定（年１回）
- ク ファイナルＳＷ（保守ＳＷ）の作動・復帰テスト（年１回）

４．保守点検対象機器一覧表

<舞台吊物装置>

装置No.	装 置 名 称		操作	機 構 方 式
1	第1緞帳	昇降装置	電動	ワイヤトラクション式
2	第2緞帳	昇降装置	電動	ワイヤトラクション式
3	暗転幕	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
4	一文字幕(1)	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
5	第1袖幕	開閉装置	手動	固定吊カーテンレール式
6	第1ボーダーライト	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
7	サスペンションライト	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
8	第1天井反射板(前吊)	昇降装置	電動	ワイヤトラクション式
9	吊物ボタン(1)	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
10	吊物ボタン(2)	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
11	一文字幕(2)	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
12	第2袖幕	開閉装置	手動	固定吊カーテンレール式
13	第2ボーダーライト	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
14	吊物ボタン(3)	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
15	吊物ボタン(4)	昇降装置	手動	カウンターウェイト式
16	第1天井反射板(後吊)	昇降装置	電動	ワイヤロープ巻取式

17	中割幕	昇降装置	手動	カウンターウェート式
	中割幕	開閉装置	手動	カーテンレール式
18	一文字幕(3)	昇降装置	手動	カウンターウェート式
19	第3ボーダーライト	昇降装置	手動	カウンターウェート式
20	第2天井反射板(前吊)	昇降装置	電動	ワイヤトラクション式
21	吊物ボタン(5)	昇降装置	手動	カウンターウェート式
22	スクリーン	昇降装置	電動	ワイヤトラクション式
	スクリーンカットマスク	開閉装置	電動	ワイヤロープ巻取巻戻し
	スクリーンカーテン	開閉装置	電動	ワイヤロープ巻取巻戻し
23	中黒幕	昇降装置	手動	カウンターウェート式
24	松羽目	昇降装置	手動	カウンターウェート式
25	第3袖幕	開閉装置	手動	固定吊カーテンレール式
26	第4ボーダーライト	昇降装置	手動	カウンターウェート式
27	第2天井反射板(後吊)	昇降装置	電動	ワイヤロープ巻取式
28	吊物ボタン(6-1)	昇降装置	手動	カウンターウェート式
29	吊物ボタン(6-2)	昇降装置	手動	カウンターウェート式

装置No.	装 置 名 称		操作	機 構 方 式
30	正面反射板	昇降装置	電動	ワイヤトラクション式
31	ホリゾンライト (一文字幕(4)共吊	昇降装置	手動	カウンターウェート式
32	吊物ボタン(7)	昇降装置	手動	カウンターウェート式
33	吊物ボタン(8)	昇降装置	手動	カウンターウェート式
34	吊物ボタン(9)	昇降装置	手動	カウンターウェート式
35	大黒幕	昇降装置	手動	カウンターウェート式
36	大ホリゾン幕	昇降装置	手動	カウンターウェート式
37	第1側面反射板(上手)	旋回装置	手動	手押し回転式
38	第1側面反射板(下手)	旋回装置	手動	手押し回転式
39	第2側面反射板(上手)	旋回装置	手動	手押し回転式
40	第2側面反射板(下手)	旋回装置	手動	手押し回転式
41	だめ黒幕			固定吊り

<床機構>

42	ひな段迫り	電動	スクリーアーム式
----	-------	----	----------

<操作盤・制御盤>

盤 名 称	面 数	備 考
舞台装置制御盤	1面	
ひな段迫り制御盤	1面	
操作盤	1面	エレベータマイク、三点吊りマイクを除く
映写室操作箱	1面	スクリーンカーテン、カットマスク用

中ホール舞台設備定期保守点検の内容

1. 保守点検内容

- (1) 電動開閉装置 1 台
- 電動機点検各作動調整
 - リミットスイッチ点検各作動調整
 - 保安スイッチ点検各作動調整
 - 制御盤点検各作動調整
 - 操作盤点検各作動調整

(2) 舞台吊物装置（下記一覧表）の各所点検各作動調整

< 舞台吊物装置 >

装置No.	装 置 名 称	操作	機構方式
1	開閉式引割緞帳	電動	固定吊カーテンレール式
2	一文字幕	—	固定吊
3	袖幕	手動	固定吊カーテンレール式
4	看板用バトン	手動	引き紐昇降式
5	バック幕	手動	固定吊カーテンレール式

2. 保守点検方法

〔1〕機構部の点検整備

装置の機能チェックを行い、機構部の点検整備と必要な調整を行う。また、各部の目視点検を行って、安全を確認する。

(1) 作動点検と機能点検

装置について運転操作を行って、各装置の作動状況を確認する。また、機能に問題がないか確認する

- ア 確実な動作をするか
- イ スムーズな動きをするか
- ウ 異音の発生、異常発熱、異臭、異常振動がないか
- エ 不具合箇所がないか、機能に異常がないか

(2) 整備と調整

機構各部の整備と必要な調整を行う。

- ア 電動装置のリミット調整
- イ 中割式の幕開閉装置の開閉センターの調整
- ウ 幕開閉装置の開閉ワイヤー・引き紐ロープ及びテンショナーの調整
- エ 各部取付ボルト・ナット・ねじ類の締付け確認

(3) 磨耗及び消耗状況の点検

磨耗、摩滅が生ずる部分または消耗する部品等を点検し、異常摩耗等がないか確認し、部品の交換・修繕等の対策が必要かどうか判断する。

- ア 滑車類のロープ溝、車軸の状況（異常摩耗・ガタつき・異音）
- イ 開閉用ワイヤー及び引き紐ロープの状態（異常摩耗・素線切れ・型崩れ・キンク等）
- ウ レールの状態（異常摩耗・損傷）
- エ 表示ランプの点灯状態（球切れ・破損）

(4) その他の安全確認

安全装置の作動テスト等、特に安全確保のため以下のことを確認する。

- ア ワイヤー及びロープの結束部分の処理状態確認
- イ レールの取付状態確認とワイヤー及びロープの脱落のないことを確認
- ウ すのこ上ほか装置周辺環境の安全確認

〔2〕 操作制御部の点検

操作盤制御盤関係の盤面及び盤内の電気品を点検し、測定を行う。

- ア 制御機器の目視点検・動作確認
- イ 盤面取付部品類の点検
- ウ 運転確認
- エ 配線状態及び端子の締付け確認
- オ 盤内清掃
- カ モーター回路の絶縁抵抗測定
- キ 各装置の正逆負荷電流測定